⑬テレビ、ラジオ、ネットメディア等と連携した「マイ・タイムライン」の普及促進

「逃げ遅れゼロ」の実現のため、テレビ、ラジオ、ネットメディア等と連携して、一人一人の災害時の防災行動計画（「マイ・タイムライン」）の検討の手引きや策定ツールを全国で共有するとともに専門家を紹介する等により、「マイ・タイムライン」の普及拡大を図る。

○マイ・タイムラインとは？

災害状況の変化に応じて自分自身の家族構成や生活環境に応じた“自分の逃げ方”のような防災行動を住民一人一人があらかじめ検討し、とりまとめたもの。

「マイ・タイムライン」

※「マイ・タイムライン検討の手引き」より
（鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会）

検討の進め方

ステップ1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

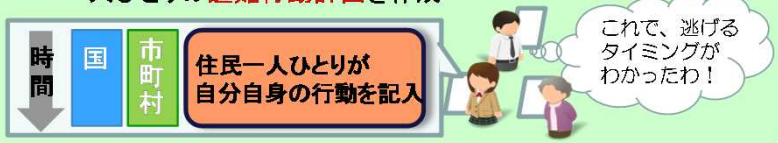
・過去の洪水を知る
・地形の特徴を知る
・水害リスクを知る

ステップ2 洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る

・洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
・タイムラインの考え方を知る
・洪水時の自らの行動を想定

ステップ3 マイ・タイムラインの作成

・一人ひとりの避難行動計画を作成



テレビ、ラジオ、ネットメディアと連携

・検討の手引き
・作成支援ツール
等を共有

○マイ・タイムラインの作成方法

避難行動に必要な情報の例

- ○ 地区の特性
- ○ 過去の水害
- ○ 地形の特徴
- ○ 最近の雨の降り方と傾向
- ○ 浸水想定
- ○ 避難行動を判断する時に有効な情報
  - ・台風・降雨・河川・避難情報等
- ○ 情報を知る手段
  - ・テレビ、ラジオ、Webサイト、スマートフォン

知る
気づく
考える

取組・支援

- ・水災害について豊富な知見を有する専門家
- ・マイ・タイムラインの進め方をサポートする人材（マイ・タイムラインリーダー等）